2022 年度

模擬国連会議全米大会

第 39 代日本代表団派遣事業

応募要項

Japanese Delegation to the NMUN

Application Guidelines

Contents

はじめに：.....2

団長挨拶：.....2

選考プロセス担当挨拶：.....3

応募資格.....4

選考プロセス.....6

選考日程：.....6

選考プロセス概要：.....7

応募：.....8

ステップ１：必要書類を準備する.....8

①参加申込書：.....8

②志望理由書：.....9

ステップ２：必要書類を提出する.....10

ステップ3:：受理完了通知を受け取る.....11

おわりに：.....12

はじめに：

団長挨拶：

皆さま、こんにちは。模擬国連会議全米大会第 39 代日本代表団派遣事業運営局にて運営統括並びに団長を務めております、細郷有希乃と申します。

まずは、この応募要項を手にとってくださりありがとうございます。少しでも全米団に興味を持っていただけていることを嬉しく思います。多くの人はアプライするかどうかまだ迷っているのではないでしょうか。「日本代表団」への選考というハードルの高さに緊張したり、「他のアプライ者はきっとすごい人たちだろう」と不安に思っていたりする人も少なくないと思います。

辞書を引いてみると、「緊張」とは「好ましくない結果にならないようにするために、一瞬たりとも気を抜けないと、それだけ精神を集中すること」、そして「不安」とは「最悪の結果に対する恐れに支配されて落ち着かない様子」だと載っています。

選考プロセスを通じて、9 名が第 39 代派遣団員として選出されます。そのため、誰もが皆簡単に乗り越えられるような課題は課されません。また、自分ひとりで悩み考えあぐねた末に導いた答えが正しいのかもわからない、そんな選考特有の環境は過酷でもあります。気が抜けないものですし、落ち着かないかもしれません。しかし一方で、答えがなく一筋縄ではいかない問いに挑み続ける姿勢は、団員に選出されたあとも、そしてその後の将来においても求められ続けます。

仮に選考期間をどんな結末とともに終えようとも、目の前の課題にしがみつき、他のアプライ者の刺激を受けながら、必死に自分と向き合った 2 ヶ月間は皆さんにとって「好ましくない結果」だとか「最悪の結果」になるとは私には思えません。必ず、ここで得られる経験はこれからの人生にとって糧になるはずです。

ですから、選考プロセスには肩の力を抜いてありのままの自分で挑んでください。緊張も、不安も要りません。ただ、「どうしてアプライしようと思ったのか」「全米団で何がしたいのか」を自分なりに考えてからアプライしてほしいと思います。それらは、選考プロセス中に難局に直面したときにもう一踏ん張りする原動力になるはずです。そして、我々運営局はその「皆さんが全米団に求めるもの」を最大限叶えられる環境を整えられるよう尽力いたします。自分を信じて、選考プロセスを全力で楽しんでください。皆様のご応募を心よりお待ちしています。

模擬国連会議全米大会第 39 代日本代表団派遣事業運営局
運営統括・団長　細郷有希乃

選考プロセス担当挨拶：

皆さん、こんにちは。模擬国連会議全米大会第 39 代日本代表団派遣事業運営局にて、選考プロセス担当を務めております河島功弦です。この度は、応募要項をお読みいただきありがとうございます。

この応募要項を読んでいるということは、皆さんそれぞれ、なにかしらの想いがあって全米団への入団を検討していることと思います。そんな皆さんがまず思うことは「選考って何するの？対策はどうしたらいいの？」ということではないでしょうか。ここでは、選考プロセス担当から、選考をより有意義な時間にするためのヒントを少しばかりお伝えしたいと思います。

まず、弊事業に関して情報収集することです。ホームページでは様々な情報を提供しています。全米大会のホームページにも有用な情報が載っています。まずは、「相手を知る」ことです。

次に、「己を知る」ことです。弊事業への入団理由はもちろんのこと、自分の強みは何か、弱みは何か、改めて見つめなおすいい機会になるでしょう。

自己研鑽も重要です。まずは、英語力をどんどんのばしましょう。英語は重要なコミュニケーションツールです。ただ、それは言い方を変えれば、英語は自分の考えを表現する「手段」でしかないとも言えます。ここでとっておきのヒントなのですが、「自分の考えを洗練された形で表現できる」ことが何よりも肝要です。論理明快か、簡潔か、見やすいか、聞きやすいか、等など。「この人の話、文章分かりやすいな」と思う人たちの話し方、文章の書き方を研究するのもいいかもしれません。

弊事業は、団員育成プログラム、渡米プログラム、運営などを通じて、皆さんに様々な成長の機会を与えると確信しております。選考プロセスも例外ではありません。選考プロセスは期間も長く決して楽では無いと思いますが、様々な課題をこなすことで、皆さんの成長の機会になると確信しています。ただ、注意していただきたいのは、これらはあくまで「機会」であるということです。ここでどれだけ成長できるかは、皆さんご自身の努力にかかっています。「待ち」の姿勢ではなく、「攻め」の姿勢で挑んでください。お待ちしております。

模擬国連会議全米大会第 39 代日本代表団派遣事業運営局
選考プロセス担当　河島功弦

応募資格

以下の９つの項目全てを満たす者。必ず次頁の注意事項もお読みください。

1. 以下の団体の会員であり、かつ原則「大学 1 年生かつ新メン[1]」である者[2]。該当団体：日本模擬国連に加盟する研究会または支部（京都研究会、国立研究会、神戸研究会、駒場研究会、日吉研究会、四ツ谷研究会、早稲田研究会、九州支部、名古屋支部、北陸支部）

2. これまでに、当事業の選考プロセス、DDP（団員育成プログラム）、渡米プログラム、または当事業運営への参加経験がない者。

3. 2022 年 3 月中旬から 4 月上旬までの予定を確保し、渡米プログラム全ての日程に参加することが可能である者。

4. 上記の渡米プログラムへの参加にあたり、健康上の不安がない者。

5. 上記の渡米プログラムへの参加にあたり、渡米時にかかる経費[3]を理解し、負担できる者。

6. 団員として選出されてから大会までの準備期間、及び渡米期間のすべてのプログラムに参加することが可能であり、かつそれを全うする意思がある者。

7. 帰国後、翌年 6 月上旬まで続く年間を通した第 40 代日本代表団派遣事業の運営に携わることが可能であり、かつそれを全うする意思がある者。

8. 帰国後、日本での各種模擬国連大会及び通常活動に積極的に参加し、今後の模擬国連活動全般に貢献する意思がある者。

9. 新型コロナウイルス感染症関連の諸問題に対応するために当事業運営局が下した判断[4]に従う者。

応募資格に関する注意事項

[1] 新メンとは「大学模擬国連を始めて一年以内の者」を指します。

[2] 「原則一年生かつ新メン」との条件を設けた理由は、一般的な四年制大学に通う学生は三年次において就活等を行い忙しくなることが予想されるため、二年次以降に全米団に入団すると三年次における運営との両立が困難になることが予想されるためです。特別の事情がある者については、個別に対応いたしますので、必要書類提出前に必ずお問い合わせください。（全米団総務アドレス：mailto:ga_nmun@jmun.org）

[3] 例年、自己負担金 15 万～20 万円前後で渡米します。（現地での食費や生活費は含まれていません。）毎年参加費は変動しますが、例年団員選出後、年内に集金を行います。学生にとっては少しハードルの高い金額かもしれませんので、ご家族などと事前に相談した上で申し込むことを強くお勧めします。もし、渡米ができずオンラインで全米大会に参加になってしまった場合や全米大会が中止になってしまった場合、お預かりした自己負担金は返金いたします。ただし、航空券などのキャンセル料がかかってしまう場合もございますので、ご了承ください。

[4] 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、渡米にあたり、日米両国政府、全米大会側の判断によってワクチン接種が必要になることがあります。その上でワクチンを接種しない場合、渡米時において必要な自主隔離を行ってもらう等、行動を制限することがあります。（自主隔離期間にかかる費用については自己負担となる場合があります。）また、日米両国政府や全米大会側の判断によっては、全米大会へのオンライン参加を指示する場合や、大会参加自体への中止を指示することがあります。

選考プロセス

選考日程[1]：

8月1日（日）正午	応募開始
9月5日（日）23時59分	応募締め切り
9月12日（日）正午	一次選考通過者発表[2]&タスク指示書配布
9月13日（月）-9月26日(日)	タスクA[3]
9月27日（月）-10月10日（日）	タスクB[4]
10月10日（日）	タスクC締め切り
10月16日（土）-10月17日（日）	タスクD[5]
10月24日（日）	タスクE締め切り
10月31日（日）	団員発表

[1] 選考プロセスの日程等はやむを得ず変更する場合があります。
[2] 応募者が一定数を上回った場合のみ、志望理由書を基に一次選考を実施します。一次選考の合否については、当日の正午に応募者全員にE-mailで通知致します。
[3] オンラインで実施します。面接の日程については、参加申込書を参照して下さい。
[4] オンラインで実施します。タスク指示書配布時に、日程調整を行います。
[5] オンラインで実施します。詳しくはタスク指示書配布時にご案内致します。やむを得ない事情により当日の政策立案コンテンツに出席できなかった者に対しては、運営局が必要と判断した場合、代替手段として、論文課題を課します。

選考プロセス概要[6]：

【応募書類】

・参加申込書（日本語）

・志望理由書(日本語)

【タスクA】

・面接(日本語＆英語)

【タスクB】

・英語コンテンツ

【タスクC】

・論文課題（日本語）

【タスクD】

・政策立案コンテンツ（日本語）

【タスクE】

・振り返り (日本語)

[6] 各タスクの詳細については、9 月 12 日（日）に配布予定のタスク指示書をご覧ください。

応募：

応募期間：8月1日(日)-9月5日(日) **提出方法：E-mail提出で9月5日(日)23時59分締め切り(日本標準時)**

※遅延受理は一切認めません。
手続に間違い・遅れのないよう十分に注意して下さい。
尚、全ての課題及びタスクにおいて再提出は認められません。

ステップ1：必要書類を準備する

必要書類は、参加申込書、志望理由書の**2点です。**

①参加申込書：

全米団 HP（https://nmun-jpn.jimdo.com/）よりダウンロードし、全ての項目を漏れのないよう記入してください。記入上の注意点は、以下の通りです。

1. 黒のボールペンで、数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に記入してください。
2. 顔写真は、顔が分かれば証明写真でなくても構いませんが、過度に修正されたものはお控えください。
3. 参加申込書を、コンビニエンスストアや自宅のコピー機を使用して用紙をスキャンし、PDF化したものを E-mail に添付してください。ファイル名は「参加申込書_氏名(ローマ字表記)」としてください。(例：参加申込書_KogenKAWASHIMA)

※ご記入いただいた個人情報は、第39代全米団派遣事業運営局が適切に管理し、ご本人の同意なく選考プロセス業務以外の目的で利用することはありません。

※提出していただいた参加申込書は返却いたしません。

※原本の参加申込書は捨てずに手元に保管しておいてください。

②志望理由書：

模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業規約

第一章：総則

第一条(名称)本団体は、模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業(Japanese Delegation to the National Model United Nations Conference Project)と称し、団体の略称は、「全米団派遣事業」とする。(以下「当事業」とする。)

第二条(目的)当事業は、模擬国連会議全米大会日本代表団(以下「日本代表団」とする。)として国連における外交を体感する機会を享受すること、及びその機会で培った知識や経験を多くの人に伝えることによる、国際問題の社会的認知の促進、模擬国連活動の発展、及び国際社会において活躍する人材の育成を目的とする。(以下略)

模擬国連会議全米大会第 39 代日本代表団団員(以下、団員)に選出されると、団員育成プログラム(DDP)を含む渡米準備、全米大会参加、並びに第 40 代運営局にて運営業務を行うことになります。以上の目的や活動を踏まえて、全米団入団を志望する理由を日本語でお書きください。**(800 字程度)**

志望理由書作成上の注意点は以下の通りです。

1. 応募課題は Microsoft Word で、日本語は MS 明朝 10.5、英語･数字･記号は Times New Roman 10.5 で書いてください。

2. 一行目に左揃えで「志望理由書」(「」は不要です)と記した上で、本文は三行目から書き始めてください。

3. 余白は 2.54 cm(1 インチ)以上取ってください。

4. 図や絵、写真は載せても評価の対象とはなりません。

5. 志望理由書を E-mail で提出する際は、ファイルの種類を Word 文書（.doc）もしくは Word 文書（.docx）とし、ファイル名は「志望理由書_氏名」としてください。(例：志望理由書_KogenKAWASHIMA)

ステップ２：必要書類を提出する

必要書類は、E-mail で提出してください。提出方法が少々複雑ですので、時間に余裕を持ち、十分に注意して行ってください。E-mail に、提出する必要書類を添付し、nmun2022submit@gmail.com と submit_nmun2022@yahoo.co.jp の２つのメールアドレスを宛先として併記し、書類を提出してください。件名は、「【全米団応募希望】氏名（日本語表記）」としてください。(例：【全米団応募希望】河島功弦) E-mail 提出が無事受領されますと、Gmail アドレス、Yahoo!メールアドレスのそれぞれから提出完了通知が自動返信されます。**(不具合により、どちらか片方のメールアドレスからしか提出完了通知が届かない場合がありますが、その場合は、どちらかのメールアドレスから通知が届いていれば問題ありません。)**

ステップ２に関する注意点は、以下の通りです。

1. 必要書類の提出は、２種類のメールアドレス（Gmail アドレスと Yahoo!メールアドレス）のそれぞれから提出完了通知が自動返信された時点で完了となります。必ず２種類のメールアドレス両方に提出してください。

2. 参加申込書、志望理由書の２点を添付してください。

3. 参加申込書は、コンビニエンスストアや自宅のコピー機等を使用し、スキャンして PDF 化したものを E-mail に添付し、送付してください。

4. 提出の際は、一般的なマナーとして、メール本文を書いた上で送信してください。

5. 提出用アドレスである nmun2022submit@gmail.com 及び submit_nmun2022@yahoo.co.jp では必要書類のみ受け付けます。**質問は総務アドレス(ga_nmun@jmun.org)にお送りください。**

6. E-mail 提出の遅延受理及び再提出は認められません。提出締め切り時間間際は、サーバーダウンが発生する可能性があります。また、サーバーの不具合などにより送信受理に時間差が生じることもございます。提出は余裕を持って行ってください。

※2 種類のメールアドレスは、いずれか一方のメールのサーバーダウン及びその他のトラブルに備えて用意しています。

ステップ３：受理完了通知を受け取る

ステップ 2 で提出していただいた書類の提出完了の通知ののち、受理完了通知あるいは不受理通知を 9 月 7 日(火)までにお送り致します。受理完了通知をお送りした時点で E-mail 提出の受理が完了し、申し込み完了となります。

ステップ 2 での 2 種類の E-mail 提出後 24 時間以内にいずれかのアドレスからの返信が届かない場合、ステップ 3 で 9 月 7 日(火)23 時 59 分までに受理完了通知あるいは不受理通知が届かない場合、もしくは一次選考の合否の通知の E-mail が 9 月 12 日(日)23 時 59 分までに届かない場合は、総務の嶋田までご連絡ください。アプライに関してのご質問も下記総務アドレスにて承りますが、選考コンテンツの具体的な内容などに関する質問は受け付けませんのでご了承ください。

総務（嶋田梨子）アドレス： ga_nmun@jmun.org

おわりに：

当事業に関する情報は随時 HP や SNS で更新しております。全米大会(National Model United Nations) HP と併せてご覧ください。

模擬国連全米大会 HP：http://www.nmun.org/
全米団 HP：https://nmun-jpn.jimdo.com/
全米団 Facebook：https://www.facebook.com/jpn.to.nmun
全米団 Twitter：https://twitter.com/japanmun_nmun
全米団 Instagram：https://www.instagram.com/japanmun_nmun/?hl=ja
全米団 YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCWs9f25geySDIq-1hRSaG_w

第 39 代運営局員一同、

皆さまのご応募お待ちしております!